

新島襄関連の文献目録 (26)

—著者・筆者別—

同志社社史資料センター

凡 例

1. 配列は著編者名をアルファベット順にした。同一の著編者による文献は、発行(発表)年月日順とした。
2. 著編者については、次のような例外がある。
 - (1)無署名の文献のうち、筆者を特定しうる場合は〔 〕内に表示した。
 - (2)著編者が不詳の場合は、その文献が掲載されている雑誌名及び新聞名を著編者欄に掲げた。
 - (3)ペンネームの場合、それが本名より周知されている場合は、ペンネームに続けて〔 〕に本名を付した。
 - (4)翻訳の場合、著者(筆者)、訳者の順番で記し、訳者には適宜(訳)を補った。
3. 書名(論文名)は次のように表示した。
 - (1)単行本、研究紀要、新聞、雑誌には『 』を付した。
 - (2)論文名、記事、抜刷、パンフレット類には「 」を付した。
 - (3)英文単行本の書名はイタリックで表示した。
 - (4)同一文献内に同じ著編者の論考がある場合、それぞれ独立したものとして表示した。
 - (5)タイトルは原則的に原文どおりに表示したが、タイトルに「 」が含まれる場合、適宜『 』に変更した。
 - (6)タイトルに含まれる漢数字は、算用数字で表記した。
4. 出版事項は、次のように表示した。
 - (1)発行所、発行年は原本どおり表記するが、和暦年号は西暦に変更した。再版(以降も)の場合、内容等に関して大幅な改訂がない限り、初版の出版事項を記した。
 - (2)新聞・雑誌の場合、誌(紙)名、巻・号、発行年月、新聞の場合には発行年月日を付した。
 - (3)インターネット上の文献の場合はアドレス(URL)と閲覧年月日を記した。
 - (4)漢数字は算用数字に変更した。

2007年12月27日現在

著编者(筆者名)	題 名	出 版 事 項
A 安 保 貴 史	「新島襄と私」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2006 春学期』 2007.11
相 田 泰 三	『会津百人一首』	短歌合歓の会 1973
B 文化財ボランティアさんだ	『三田ゆかりの50人』	文化財ボランティアさんだ 2007
D 大 日 常 男	「今こそ新島精神を」	<i>Chaperl</i> , vol. 12 (130年を語りつぐ・ともしびつぼみ合併号) 同志社女子大学宗教部 2007.3
ダリア・ダリエ ンゾ、北垣宗治 訳	講演「アーモストの輝かしい息子 —新島襄のアーモスト大学時代—」	『新島研究』第98号 2007.2
同志社大学ESS 雑誌編集部門	Neesima Seishin	<i>Doshisha Chimes</i> , vol. 8 The Doshisha English Speaking Society 1963
同志社大学人文 科学研究所	『新島襄宛英文書簡集 (未定稿)』 (1)	同志社大学人文科学研究所 2007.3
同志社大学人文 科学研究所	『新島襄宛英文書簡集 (未定稿)』 (2)	同志社大学人文科学研究所 2007.3
同志社大学人文 科学研究所	『新島襄宛英文書簡集 (未定稿)』 (3)	同志社大学人文科学研究所 2007.3
同志社教会史編 集委員会	『同志社教会 1945-1980』	日本キリスト教団同志社教会 2006.12
H 秦 芳 江	「新島体育の発見」	<i>Chaperl</i> , vol. 12 (130年を語りつぐ・ともしびつぼみ合併号) 同志社女子大学宗教部 2007.3
日 比 恵 子	「ミス・デントン来日の前後 (3) ミス・デントン着任直後の行動」	『同志社談叢』第27号 2007.3
樋 口 秀 雄	「何がアーモスト館建設を促進した のか」	『同志社談叢』第27号 2007.3
I 井 上 勝 也	「教育者チャンことオーテス・ケー リ教授」(1)	<i>The Doshisha Times</i> 第 619号 2007.2.15
井 上 勝 也	「教育者チャンことオーテス・ケー リ教授」(2)	<i>The Doshisha Times</i> 第 620号 2007.3.15

新島襄関連の文献目録

井上勝也	「教育者チャンことオーテス・ケーリ教授」(3)	<i>The Doshisha Times</i> 第 621号 2007.4.15
井上勝也	「教育者チャンことオーテス・ケーリ教授」(4)	<i>The Doshisha Times</i> 第 622号 2007.5.15
井上勝也	「教育者チャンことオーテス・ケーリ教授」(5)	<i>The Doshisha Times</i> 第 623号 2007.6.15
井上勝也	「教育者チャンことオーテス・ケーリ教授」(6)	<i>The Doshisha Times</i> 第 624号 2007.7.15
井上勝也	「教育者チャンことオーテス・ケーリ教授」(7)	<i>The Doshisha Times</i> 第 625号 2007.9.15
井上勝也	「教育者チャンことオーテス・ケーリ教授」(8)	<i>The Doshisha Times</i> 第 626号 2007.10.15
井上勝也	「教育者チャンことオーテス・ケーリ教授」(9)	<i>The Doshisha Times</i> 第 627号 2007.11.15
井上勝也	「新島襄とオーテイス・ケーリの学んだアマースト・カレッジ—歴代学長のプロフィール・伝統と当時のカリキュラム—」	『新島研究』第98号 2007.2
井上勝也	「新島襄は伝道師養成学校 (training school) をつくろうとしたのか?」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2006 春学期』 2007.11
Irwin Scheiner	<i>Christian converts and social protest in Meiji Japan</i>	Berkeley: University of California Press 1970
伊藤彌彦	「なるほど新島襄」(59)	「チャペル・アワー案内」No.193 2007.4.2
伊藤彌彦	「なるほど新島襄」(60)	「チャペル・アワー案内」No.194 2007.5.15
伊藤彌彦	「なるほど新島襄」(61)	「チャペル・アワー案内」No.195 2007.6.6
伊藤彌彦	「なるほど新島襄」(62)	「チャペル・アワー案内」No.196 2007.7.20
伊藤彌彦	「なるほど新島襄」(63)	「チャペル・アワー案内」No.197 2007.11.1
伊藤彌彦	「なるほど新島襄」(64)	「チャペル・アワー案内」No.198 2007.12.1
J 上毛新聞社	特集「播かれし種 安中に芽生えたキリスト教」	『上州風』vol. 27 2007.9
K 北垣宗治	「早稲田で教えた初期の同志社出身者」	『関西英学史研究』第 2 号 日本英学史学会関西支部 2006.12

小 泉 芳 孝	「新島襄ゆかりの『南山義塾跡』石碑の保存を」	京田辺市郷土史会編『筒城』第52輯 2007.4
駒 込 武	「戦時下の同志社—帝国日本の歴史の中で考える—」	『同志社時報』No.124 2007.10
河 野 仁 昭	「新島襄が寄港した村—同志社と風間浦村交流15周年に寄せて—」	『同志社時報』No.123 2007.4
河 野 仁 昭	「新島襄と京都の商人 中村栄助」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2006 春学期』2007.11
越 川 弘 英	「ニコライと日本の正教会」	『キリスト教新聞』2007.3.17
熊本日米協会	『熊本日米協会創立45周年記念国際シンポジウム記録誌 熊本洋学校におけるジェーンズの教育と日米関係 付熊本日米協会史』	熊本日米協会 2004.2
L リード・ギューリック	The Neesima Spirit	<i>Doshisha Chimes</i> , vol. 8 The Doshisha English Speaking Society 1963
M 宮 庄 哲 夫	「My plan for Japan—英語で遺書を書いた国際人新島—」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2006 春学期』2007.11
宮 澤 正 典	「W.S.クラーク、イザベラ・バード、ヘルマン・ヘッセ」	<i>Chaperl</i> , vol. 12 (130年を語りつぐ・ともしびつばみ合併号) 同志社女子大学宗教部 2007.3
宮 澤 正 典	「同志社人物誌96 高風京—韓国最初の組織的社會福祉の實踐・ソウル女子大学初代学長」	『同志社時報』No.124 2007.10
森 永 長 壹 郎	「J.D.デイヴィスとN.G.クラークの往復書簡」(4)	『同志社談叢』第27号 2007.3
森 永 長 壹 郎	「新島襄の『脱国の理由』と『ロビンソン・クルーソー』」	『新島研究』第98号 2007.2
森 永 長 壹 郎	コラム「名護屋丸について」	『新島研究』第98号 2007.2
森 田 潤 司	「新島襄・八重夫妻—先駆的だった二人—」	<i>Chaperl</i> , vol. 12 (130年を語りつぐ・ともしびつばみ合併号) 同志社女子大学宗教部 2007.3
本 井 康 博	「W・S・クラークと新島襄」(前編)	『三つ葉』第4号同志社校友会東京支部(38会誌)2007.2「関西エルム新聞」第48号 2002.9より転載
本 井 康 博	「会津若松、喜多方に同志社水脈を探る」	『同志社時報』No.124 2007.10

新島襄関連の文献目録

本井康博	「錨をあげて—女子大からのスタート—」	<i>Chaperl</i> , vol. 12 (130年を語りつぐ・ともしびつばみ合併号) 同志社女子大学宗教部 2007.3
本井康博	「新出・新島襄書簡六通の紹介」	『同志社談叢』第27号 2007.3
本井康博	「同志社の創設者たち—ハーディー家の人々 (1)」	『同志社教会月報』277 日本キリスト教団同志社教会 2007.10
本井康博	「同志社の創設者たち—ハーディー家の人々 (2)」	『同志社教会月報』278 日本キリスト教団同志社教会 2007.11
本井康博	「新島万華鏡」	『同神期報』No.82 2006.3.20
本井康博	「新島万華鏡 2」	『同神期報』No.83 2007.3.20
本井康博	「日本のアーモスト」	<i>One Purpose</i> 新入学生歓迎号2007.2, No.150 2007.4
本井康博	「ポストニアン・新島襄 (JHN) ニューイングランドから見た同志社」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2006 春学期』2007.11
本井康博	『錨をあげて 新島襄を語る (三)』	思文閣出版 2007.2
本井康博	記念公演「福祉・平和を追求した同志社の人脈」	『同志社社会福祉学』第20号同志社大学社会福祉学会 2006.12
本井康博	シンポジウム「福祉・平和と同志社人の役割」	『同志社社会福祉学』第20号同志社大学社会福祉学会 2006.12
村上元庸	「定められた時の間」	<i>Chaperl</i> , vol. 12 (130年を語りつぐ・ともしびつばみ合併号) 同志社女子大学宗教部 2007.3
明楽誠	「新島襄の回心 (conversion) について」	『新島研究』第98号 2007.2
明楽誠	『異教国の新島襄 五つの回心』	大学教育出版 2007
N 那須頼雅	エッセイ「アメリカの—ユーモア作家の『良心論』から見る新島襄の苦闘—良心の自由を求めて—」	『新島研究』第98号 2007.2
西田毅	「『武士道的キリスト者』新島襄—高平小五郎のアマースト演説—」	『キリスト教社会問題研究』第55号 2006.12
野本真也	「同志社小学校の使命と目指すもの」	『キリスト教学校教育』第602号 2007.4.15
野本真也	「新島襄の志を受け継ぐために」	「月刊チャペル・アワー案内」No.262 2007.12.20
O 岡西愛濃	「『女学雑誌』の和歌—池袋清風を中心—」	『フェリス女学院大学日文学院紀要』第14号 2007.3
岡西愛濃	「池袋清風の和歌改良—『女学雑誌』から見る—」	短歌雑誌『ボトナム』Vol. 84 2007.7

大越哲仁	「大学部としての同志社政法学校—新島襄逝去後の大学設立運動—」	『新島研究』第98号 2007.2
大林浩	「新島襄の思想的背景としての会衆主義キリスト教」	『同志社時報』No.123 2007.4
太田雅夫	「多賀城碑の拓本と李樹延の書—『新島旧邸』の屏風—」	<i>The Doshisha Times</i> 第620号 2007.3.15
太田雅夫	『新島襄とその周辺』	青山社 2007
P		
ポール・F. ボラー、北垣宗治 (訳)	『アメリカンボードと同志社1875—1900』	新教出版 2007.2
ポール・V. グリーシー、北垣宗治 (訳)	「同志社の土着化 (1875~1919) (その7)」	『同志社談叢』第27号 2007.3
S		
清田康晃	「襄先生の軌跡—自分の足と眼でたどる—」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2006 春学期』 2007.11
関口徹	「新島襄の母とみの『口述』を改めて聴く—家老尾崎直右衛門父子と媒酌人岡田源七郎—」	『新島研究』第98号 2007.2
千川岸貫一	『明治百傑伝』	青山嵩山堂 1902
柴田千頭男	「同志社大学創立者新島襄 膨大な書簡から浮かび上がるありのままの生と死」 <上>	『SOGI』特集創刊100号記念 July 2007 Vol. 17 No.4
柴田千頭男	「同志社大学創立者 新島襄 膨大な書簡から浮かび上がる、ありのままの生と死—<下>」	総合専門誌『SOGI』通巻101号 2007.9
澁谷昭彦	『『若草萌えて』をめぐって』	<i>The Doshisha Times</i> 第626号 2007.10.15
清水久美子	「新島八重とパーミリー」	<i>Chaperl</i> , vol. 12 (130年を語りつぐ・ともしびつぼみ合併号) 同志社女子大学宗教部 2007.3
T		
竹内力雄・小枝弘和	「新島襄の数学ノート“Elements of Algebra”の原著」	『新島研究』第98号 2007.2
滝澤民夫	「新島襄と増野悦興」	『同志社談叢』第27号 2007.3
徳富蘇峰	『終戦後日記Ⅲ 頑蘇夢物語』歴史編	講談社 2007
徳富蘇峰	『終戦後日記Ⅳ 頑蘇夢物語』完結編	講談社 2007

新島襄関連の文献目録

角 田 彰 久	We are walking on long trail	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2006 春学期』2007.11
U 上 田 真夕子	「新島襄の足跡を辿る旅（パートⅡ）に参加して」	同志社教職員組合連合月報『きのう きょう あす』No.151 2007.11
宇 治 郷 毅	「同志社で学んだ韓国人留学生の足跡をたずねて」（最終回）	<i>The Doshisha Times</i> 第 626号 2007.10.15
浮 田 義 巨	「一粒の種を蒔かれて—ポストン・アーモスト新島襄の足跡を辿る旅Ⅱ—」	同志社教職員組合連合月報『きのう きょう あす』No.150 2007.10
Y 八 木 橋 康 広	「新島襄と幕末維新の動乱—天誅組の烈士原田亀太郎との交友を中心に—」	『新島研究』第98号 2007.2
山 田 果 林	コラム「数学ノートに描かれた新島の象のスケッチ」	『新島研究』第98号 2007.2
柳 島 彦 作	To Neesima Sensei	<i>Doshisha Chimes</i> , vol. 8 The Doshisha English Speaking Society 1963
吉 海 直 人	『吉野山』歌顔末記」	『同志社談叢』第27号 2007.3